



図書館だより

定年退職を迎える専任教職員のみなさまへ

図書館の利用について

ご退職後も引き続き早稲田大学図書館、各キャンパス図書館をご利用いただけます。

中央図書館2階のインフォメーションカウンターでお手続き下さい。その際勤続年数の確認をさせていただきます。

利用カードのお渡しはご退職後（教職員証ご返却後）となります。カードをお渡し時に教職員証をお持ちでしたら人事課までご返却下さい。返却は図書館インフォメーションカウンターでも承ります。利用の詳細についてはリーフレット「図書館カード利用上のご注意」でご案内いたします。

* 名誉教授証交付予定の方は、名誉教授証発行までの暫定利用カードを発行致します。名誉教授証の交付後は、暫定利用カードをご返却下さい。（名誉教授証についてのお問合せは人事課までお願いいたします。）（文責：福本 宏子）

お問合せ先：図書館総合閲覧課

03-5286-1659（直通TEL）

図書のご寄贈について

図書館では長年にわたり、ご退職される先生方の収集された図書を受入れています。図書館としては、日々多くの学外諸機関や校友、一般篤志家からの寄贈を受け入れており、今後とも良い資料を随時受入れてまいりたいと考えています。

ご寄贈図書の受入れに際しては、以下のような原則を設けています。

原則として、図書館の既存の蔵書と重複しないものを図書館蔵書とする。重複図書についてはストックしておき、海外諸機関への寄贈などに充てる。

図書・資料は日々増加していくため、スペースを有効に使う意味から、できるだけ蔵書の重複を避けこれまで図書館に未所蔵のものを受け入れていくという趣旨です。ご寄贈いただいた図書は、WINEで所蔵の有無を調べ、図書館蔵書と重複した図書はストックし、寄贈を希望する海外の図書館等への早稲田大学からの寄贈に充てます。これまで多くの国々の機関に重複図書を寄贈しています。

またそのような諸機関への送料等に充てることなどを目的として、重複図書の一部をABAJ（日本古書籍商協会）を通して古書市場に提供しています。

図書・資料は、それを必要とする人のいるところに運ばれ有効活用されるべきであるという観点から海外諸機関への寄贈は今後とも可能な限り進めていく方針です。

ご退職される先生方が、研究室にある図書・資料を整理される場合は、ぜひ図書館にご相談ください。先生方の収集された図書は、各々の分野で極めて貴重な資料との認識を持っています。図書館の蔵書を更に向上させるため、ご協力をお待ち致しています。（文責：宇田川 和男）

お問合せ先：図書館資料管理課

03-5286-1657（直通TEL）〔各学部教員図書室経由も可〕

〔表紙写真〕

於鹿鳴館貴婦人慈善会之図 橋本周延画
明治20年（1888）11月

不平等条約改正をはかり、欧化政策を進める明治政府は、明治16年（1883）外国賓客接待のため、東京日比谷に鹿鳴館を建設した。内外の高官と夫人・令嬢たちが日々集う、いわゆる鹿鳴館時代が現出した。これは高官の夫人達たちが開いた慈善会の絵。参加者には、毛利・鍋島といった元大名、山県、松方などの維新の勲功者たちの夫人が名を連ねている。「幕末・明治の異文化交流」展から
錦絵3枚続 手5 - 4152

所属名は原稿執筆時のもの

早稲田大学図書館報 ふみくら No. 73 2005年12月15日発行 3,000部
発行人/紙屋敦之
担当課長/金子昌嗣 編集委員会/芝田穂・福本宏子
発行/早稲田大学図書館 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 ☎5286-1652（ダイヤルイン）

ISSN 0289-8926